

(令和2年8月20日)

昨日、71件の検査を実施しましたところ、市内で新たに1名、121例目（県内134例目）となる感染者が確認されました。

この方は、60歳代の女性の方です。

8月10日に22例目（県内34例目）の濃厚接触者として検査を受け、陰性が確認されていました。以降は、外出自粛をお願いし、保健所による健康観察で、咽頭痛、嗅覚障害などの症状が確認されたため、昨日19日に再検査を実施したところ、陽性が判明したものです。

現在、症状も軽く、保健所の指導のもとに自宅で待機し、本日、島根県広域入院調整本部において調整の上、感染症対策を講じた医療機関へ入院予定です。

次に、市内120例目（県内133例目）の調査状況です。昨日までに松江市立病院の職員など80件の検査を行い、全て陰性でした。引き続き、残る検査を速やかに実施するとともに、これまでどおり感染防止対策を徹底し、安心してご来院いただけるよう努めてまいります。

次に、退院の状況についてです。

昨日19日に、入院中の患者さんのうち、9人が退院されました。このうち、8人が立正大浜南高校の生徒さんです。退院された方には、4週間の健康観察等を依頼しています。退院後の生活においては、外出自粛等の行動制限はありません。

現在生徒の皆さんは、保健所の助言指導のもと、学校関係者とともに、三密の回避、手指消毒や施設の換気の徹底など、感染予防対策をしっかりととりながら、制約の多い生活を、辛抱強く送っておられます。

市といたしましても、一刻も早く学校生活が正常化するよう支援してまいりますので、市民のみなさまにおかれましても、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

先日の報道において、今回の感染源がスポーツ活動の接触プレー自体であるかのように受け取れる表現がありました。18日の記者会見での保健所長は、「サッカーに限らず、試合などの際に対戦相手とボディコンタクトがあると感染を受けるリスクが常にあるんだという意識を絶えず持って、寮に帰っても普通のご家庭以上に徹底した感染防護策が必要」と防止対策について申し上げます。

今回の感染は、県外移動中に感染した可能性が高いと考えていますので、引率者含めて、移動中のあらゆる場面で感染の可能性があります。

生徒が対外試合や接触プレーによって感染したと特定している訳ではありません。

島根県教育委員会は、新型コロナウイルス感染症に対応した県立学校運営ガイドラインを8月18日に改訂し、部活動も含めた学校活動の感染管理の徹底を図ってまいります。

松江市立の学校も私立学校についても、それぞれのガイドラインやルールを遵守して、感染管理を徹底しながら、学校活動を行っています。

こうした報道は、一つの学校に留まらず、部活動を含めた学校活動全体に大きな影響を与えるものでございます。

市民の皆様にも報道機関の皆様にも、それぞれの学校は部活動を含め、ガイドライン等に基づいて感染管理を徹底しながら、学校活動を行っていますことにつきまして、ご理解を賜りますよう重ねてお願いいたします。

また、昨日、鳥取県から発表のあった鳥取県22例目の方に関連してお伝えします。鳥取県から情報提供があり、この22例目の方の勤務先は、松江市内にあることがわかりました。

勤務先名につきましては、セルフステーション浜乃木 になります。

8月14日（金）から19日（水）の間に、当該店舗をご利用になった方や取引先などで、従業員と接触のあった方など、症状の有無に関わらず、新型コロナウイルス感染症健康相談コールセンター（0852-33-7638）までご相談ください。

店舗名につきましては、感染拡大防止の観点から、事業所のご理解のもと、公表させていただいたところですが、当該事業所が感染源と特定されているわけではありませんので、誤った偏見を持たれませんよう、ご配慮をお願いします。

現在、根拠のないデマなどにより、非常に多くの方が実害を被っていると伺っています。市民の皆さまにおかれましては、誤った情報に惑わされず、誹謗中傷など人を傷つける行為は厳に慎んでいただきますよう、重ねてお願いいたします。